

# Olive News

オリーブ 便り



基本理念 患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

## 空色ポストを開催しました

香川大学医学部 医療支援課

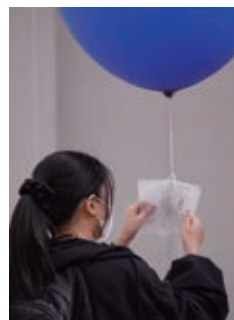
今年で3年目を迎えたホスピタルアート「空色ポスト」が、11月5日から8日までの4日間、香川大学医学部附属病院中庭で開催されました。今年は天候にも恵まれ、爽やかな秋空の下、多くの患者さんや来院者、医療従事者の方々にご参加いただきました。

このイベントは、香川大学 創造工学部 造形・メディアデザインコースが主催し、病院空間に温かさや癒しをもたらすことを目的としています。参加者は思い思いに手紙を書き、その手紙をカラフルな風船に託して空に浮かべました。風船を手繰り寄せて他の参加者の手紙を読むことで、さまざまな想いに触れる機会も提供されました。また、イベント終了後には風船を小児科に寄付し、子どもたちにも大変喜ばれました。

さらに、今年のイベントには香川大学医学部附属病院キャラクターの「くーちゃん」も特別参加。来場者との交流を通じて病院内に温かい雰囲気を広げ、くーちゃんとの写真撮影コーナーは特に子どもたちに大人気で、笑顔があふれる場面が多く見られました。また、医学部Radioと瀬戸内地域医療ラボラトリーの協力を得て作品展示を行い、広報面や地域連携の観点からもイベントが一層充実したものとなりました。

新たな試みとして、寄せられた手紙の一部を学生たちが朗読し、その音声をヘッドホンで聴く体験を実施しました。朗読はGPSによる位置情報に応じて内容が変化し、参加者がその場の空間により深く没入できる仕組みとなっています。この体験を通じて、参加者が手紙に込められた想いをより身近に感じられる、特別な時間となりました。

イベントで集められた手紙は、右のQRコードからアクセスできる特設アーカイブサイトやInstagramのアカウントに掲載されています。ぜひご覧いただき、多くの想いに触れてみてください。



## 診療科長の横顔

香川大学医学部附属病院 腎臓内科 診療科長 祖父江 理

### ポリシー

「腎疾患は治らない難しい病気である」という固定概念を覆し、どの病期・病態においても積極的な治療を進めていく事が大学病院における臨床の姿勢であると考えています。我々腎臓内科では「検尿異常から腎移植まで」の基本スタンスの下、種々の腎疾患に関して広く診療できるオールラウンダーの育成を心がけています。また、腎臓病は症状がなく進行しますので、早期発見・早期治療を目指した健診からの抽出を目的とした社会的な政策にも力を入れています。

### 診療科紹介

腎臓内科では慢性腎臓病を中心に、慢性糸球体腎炎・高血圧・電解質異常、遺伝性腎疾患、末期腎不全(血液透析・腹膜透析・腎移植)の治療にあたっています。一般CKD患者の病診連携から、難治性ネフローゼ症候群に対するリツキシマブ治療等の先進的治療まで対応しています。腎代替療法選択に関しては生体腎移植・腹膜透析を積極的に推進し、療法選択看護外来を開設し、個々の患者さんに合った腎代替療法を提供しています。



## 看護師長の横顔

香川大学医学部附属病院 東病棟3階 看護師長 合田 幸伸

### 病棟紹介

当病棟は泌尿器・副腎・腎移植外科、腎臓内科、血液浄化療法室、放射線診断科があり、手術や血液透析、放射線治療を担当しています。

また、病棟と外来、血液浄化療法室をユニット化しており、外来から入院、治療から社会復帰まで、一人ひとりに寄り添った看護を提供しています。

病棟看護師は、新卒から孫をもつ看護師まで広い世代が活躍しており、多様なニーズに応えられるように協力しています。



### 座右の銘、ポリシー

私の座右の銘は『しゃくとりのはしめは伸びんがため』です。

同僚に教えてもらった言葉で、仕事で思うようにいかない事があったときに思い返しています。つらいことを乗り越えれば必ず成長できると信じ、患者さんとご家族のために何がよいのかを一緒に考えるようにしています。

外来に来られた患者さんが、治療を経て地域社会に帰られてからも元気に生活できるように、スタッフ一丸となって支えてまいります。



## 「令和6年度(第9回) お月見で笑(ショー)」を開催しました

香川大学医学部 医療支援課

10月22日(火)18時30分から、医学部附属病院1階玄関ホールにおいて、入院患者さんを対象とした秋の院内イベント「お月見で笑」を開催しました。

平成21年度から始めた秋の院内イベントは、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症流行に備えて中止しておりましたが、この度5年ぶりに再開し、今年で通算9回目となります。

今回は、香川県住みます芸人の梶剛さんを迎えて、当院の入院患者さんに早くよくなってもらうことを願い、「病院Radio」など楽しい企画を実施しました。

約80名の入院患者さんがお見えになり、秋の夜長を楽しく過ごしていただくことができました。



## 「HPVワクチンキャッチアップ接種対象世代への集団接種事業」を実施しています

香川大学医学部 総務課総務係



香川大学で学ぶ女子学生、働く女性教職員の未来と命を、ワクチン接種にて予防できる子宮頸がんから守るため、期限のあるキャッチアップ接種について、アクセスしやすい機会を設けることを目的として、希望者を対象に集団接種事業を実施しております。

接種は全部で3回に分けて行われます。1回目の接種は9月に実施され、約30名の方の接種が滞りなく完了しました。2回目は11月、3回目は来年3月に実施を予定しております。

※HPVワクチンキャッチアップ接種とは(HPV:ヒトパピローマウイルス)

子宮頸がんは現在国内で約11,000人が罹患し、2,900人余りが亡くなるがんであり、若い世代に多いためマザーキラーと呼ばれること、原因がはっきりしていること(HPVの持続感染)、初期には症状がないことが特徴です。日本では過去30年にわたり死亡率が低下しておりません。

2013年4月より定期接種(小学校6年~高校1年相当)となったHPVワクチンですが、6月より厚労省が積極的接種勧奨中止を自治体に要請しました。副反応と考えられた多様な症状などについて安全性の再評価が行われ、ようやく2022年4月より積極的勧奨再開、2023年4月からは子宮頸がんの90%が予防可能とされる9価ワクチンも定期接種に組み入れられました。

積極的勧奨中止期間に個別通知がなかったために接種していない世代(1997年4月2日~2007年4月1日生まれ)の希望者が接種できるよう、自費だと5~10万円ほどかかる費用を公費で全額負担し、2025年3月を期限として行われているのがHPVワクチンキャッチアップ接種です。



# 2024年度の医師臨床研修マッチング結果について

香川大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター センター長 安田 真之

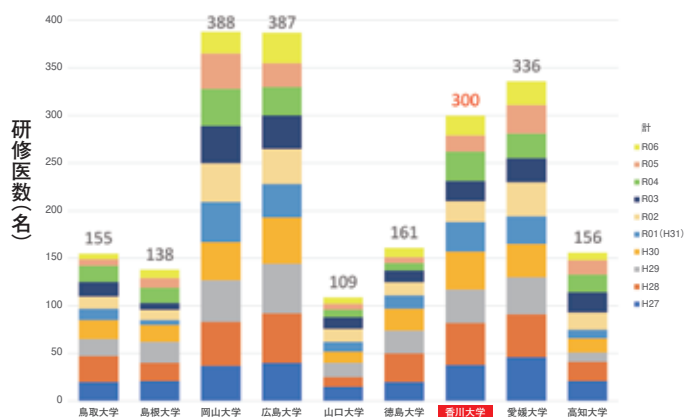
令和7年度から医師になる医学科生らが臨床研修病院を選ぶ「2024年度マッチング結果」が、10月24日に公表されました。本院のマッチ者数は、MANDEGANプログラム(19名)および小児科プログラム(2名)、あわせて計21名でした。本院への想い・期待を抱いてくれた皆さんが、来春より本院で研修開始予定であることを大変嬉しく思います。

令和2年度から、卒後臨床研修制度が大幅に変更となりました。必修診療科での研修期間が増え、新たに外来診療・チーム医療の実践など必修項目も設定されています。また、医師だけでなく看護師等の多職種による研修医評価も必要となりました。院内スタッフの皆様には、研修医指導へのご理解とご協力をお願いいたします。

本年度のマッチング結果は、地方国立大学病院では、研修医確保が大変厳しい状況に陥っており、地域医療を担う医師教育、育成に多大な影響を及ぼすことが危惧されております。今後、多くの医学生からキャリアアップのファーストステップとして本院が選択されるために、医療の社会的ニーズの変化に対応した研修を提供することが、さらに重要となると考えています。

医学部教育センター、臨床教育研修支援部が一気通貫体制で医師養成に望むだけでなく、病院全体のムーブメントとして院内スタッフの皆様にも研修医教育に関わって頂き、研修医が医師としてのキャリアアップに夢を持てる大学病院でありつづけることが大切と考えます。引き続き研修医育成にお力添えの程よろしくお願ひ申し上げます。

中国四国9国立大学病院 大学別  
医師臨床研修マッチング者数の累計(過去10年間)



# 解剖体慰霊祭の開催について

香川大学医学部 総務課総務係

令和6年10月23日(水) 13時30分より、医学部体育館において、解剖体慰霊祭を開催いたしました。

献灯・献花・黙とうの後、上田学長、西山医学部長、香川県知事、板野白菊会理事長、医学部学生代表による追悼の辞が述べられました。

最後に、遺族や学生等参列者約400名が献花を行い、医学教育・研究に協力され、医学の向上・発展に貢献された2,194柱の御霊に哀悼の意を表し、故人のご冥福を祈りました。



ケーブルTVで放送中



詳しくはこちら



- 12月のテーマ スキルスラボセンターの紹介
- 1月のテーマ 便秘は病気?
- 2月のテーマ 遺伝を知ってがん予防(予定)

## イベントカレンダー 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
2025/2/1(土)	9:00~17:00	香川大学医学部附属病院	第89回乳児股関節エコーセミナー	四国こどもとおとなの医療センター 飛梅	(0877)62-1000
2025/2/2(日)	9:00~12:00	高松商工会議所			

編集委員会 (50音順)

(2024年9月現在)

岡内(外来)、岡野(副病院長)、寒川(総務)、小坂(薬剤)、近藤(医事)、多田(検査)、田中(病棟)、筒井(医療支援)、保科(管理)、森(看護)、門田(放射線)、横井(医療情報)〔委員長 門脇病院長〕